



公益財団法人 山階鳥類研究所

アホウドリ 1 万羽達成記念シンポジウムの詳細が決定しました

- ・ 9月27日（日）に開催されるアホウドリ 1 万羽達成記念シンポジウム「100 万羽のアホウドリが羽ばたく未来を目指して」の詳細が決定しました。
- ・ アホウドリの研究・保全活動にたずさわってきた専門家がこれまでの道のりと最新の状況を報告し、100 万羽のアホウドリが羽ばたく未来について考えます。
- ・ 講演者 10 人、パネリスト 4 人による、11 演題とパネルディスカッションを行います。

2026 年 2 月から 3 月に鳥島で実施された、アホウドリ繁殖状況のモニタリング調査の結果、鳥島のアホウドリ個体群は 11,067 羽と推定されました。一度は絶滅したと考えられたアホウドリですが、1951 年の再発見後、繁殖地の整備やデコイ作戦によってはじめて 1 万羽を超えるまで回復しました。本報告については、6 月 8 日にプレスリリースを行いました。

1 万羽の回復達成を記念して、9 月 27 日に東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂でシンポジウム「100 万羽のアホウドリが羽ばたく未来を目指して」の開催が決定していますが、タイトル・登壇者などの詳細が決定しましたので、お知らせいたします。

【シンポジウム開催情報】

日時：2026 年 9 月 27 日（日）10：00～17：00

場所：東京農業大学世田谷キャンパス横井講堂（要申込／先着 200 名）

- ・ 会場参加の申込フォーム <https://forms.gle/VEQ5dua3cERfi2vJ7>
- ・ オンライン配信あり（申込不要）<https://www.youtube.com/@yamashinainstituteforornit9932>

【シンポジウム講演内容】

趣旨説明

「アホウドリが歩んできた歴史」富田直樹（山階鳥類研究所 研究員）

セッション 1 これまでの保全活動の成果と現在の取り組み

アホウドリ保全活動の初期から現在まで、鳥島で行われてきた活動・調査研究や、鴛島で進められている新繁殖地形成事業について、これまでの成果、現在の取り組み、今後の課題を報告します。

「鳥島アホウドリ（オキノタユウ）集団の成長、1976-2018 年」長谷川博（東邦大学 名誉教授）

「鳥島アホウドリデコイ作戦」佐藤文男（山階鳥類研究所 フェロー）

「第三の繁殖地確立に向けて ～小笠原鴛島での取り組みと現状～」

油田照秋（山階鳥類研究所 研究員）



シンポジウムチラシ



公益財団法人 山階鳥類研究所

セッション2 アホウドリ類の保全活動

アホウドリを含むアホウドリ類を対象とした国内外の保全活動について、混獲対策などの事例を紹介し、アホウドリ保全に関する知見と課題を整理します。

「アホウドリ類が直面している脅威」

鈴木康子（バードライフ・インターナショナル 主席海洋スペシャリスト）

「アホウドリと漁業の共存を目指して ～漁業による『混獲』問題と、国内外の取り組み～」

越智大介（国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所 グループ長）

「アメリカにおけるアホウドリ保全の取り組み（ビデオ発表）」

Robert M. Suryan（アメリカ海洋大気庁アラスカ水産科学センター プログラムマネージャー）

セッション3 センカクアホウドリの生態と現状

別種レベルで異なることが判明した、尖閣諸島で主に繁殖するアホウドリ（センカクアホウドリ）について、その生態、分類、行動、尖閣諸島での繁殖個体数などの現状と課題を報告します。

「なぜアホウドリは2種からなると言えるのか？」

江田真毅（北海道大学総合博物館 教授）

「実は2種いたアホウドリ、学名はどうなる？」

山崎剛史（山階鳥類研究所 研究員）

「衛星画像を用いた尖閣諸島におけるセンカクアホウドリのつがい数推定」

大坪二郎（いであ株式会社 国土環境研究所 自然環境保全部 部長）

「センカクアホウドリの周年利用海域」

富田直樹（山階鳥類研究所 研究員）

パネルディスカッション

3つのセッションの講演を踏まえ、アホウドリが現在抱えている課題を冒頭で整理します。そのうえでパネリストを迎え、それぞれの課題解決に向けて必要な研究・保全活動について議論します。

【司会進行】 綿貫豊（北海道大学 名誉教授）

【パネリスト】 出口智広（兵庫県立大学大学院 准教授）

鈴木康子（バードライフ・インターナショナル 主席海洋スペシャリスト）

富田直樹（山階鳥類研究所 研究員）

北橋義明（環境省野生生物課希少種保全推進室 室長）

●シンポジウム詳細はウェブサイトに掲載のプログラムもご覧ください

https://www.yamashina.or.jp/hp/event/images/20260927albatross10000_sympo_program.pdf



この件についてのお問い合わせ先：

公益財団法人 山階鳥類研究所

千葉県我孫子市高野山115 電話：04-7182-1101

担当：広報 山岡（Eメール：pressrelease@yamashina.or.jp）